

# Yacht Sailing

ヨットセーリング

## 世界レベルの優秀セーラーを輩出 浜名湖は最高のヨットスタジアム

年間を通じて良い風が吹き、四方が陸に囲まれているためうねりが少なく、完全にヨットセーリングを楽しめる浜名湖。ここにセーリング技術の指導や大会への参加を行う「静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ」がある。ヨットは敷居が高いとされがちなので設備や練習環境を整え、競技者を育成する活動が必要。毎年開催される「YMFセーリング・チャレンジカップIN浜名湖」では、オリンピック出場経験者による実践的な指導を受けられる。また連盟の副理事長が経営するマリッシュヨップジョナサンでは初心者でも気軽にセーリングを体験でき、ヨットレンタルも可能。このような連盟の積極的な活動成果もあり、年々選手たちのレベルは向上。世界大会や国体に出場する優秀な若き選手たちが誕生している。

PICK UP!

### ヨットセーリングの一流 鈴木亮太郎くん

世界選手権にも出場する亮太郎くんは今年で16歳。大人顔負けの腕を持つヨットセーラーだ。「海の上では自分一人。うまくいけば自分の成長、うまくいかなかったら自分の責任。世界レベルを体験し、目標がさらに明確になりました」と、休日は父親とともに浜名湖で練習し、平日は自宅で筋トレに励む。

静岡県セーリング連盟: <http://www.jsaf.or.jp/shizuoka/>  
静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニア: <https://hamanako-jr.jimdo.com/>



県立三ヶ日青年の家にあるヨットハーバー。小学生も参加できる海洋活動を行い、ヨットをはじめとするマリンスポーツを気軽に体験できる場を提供。未来のマリンスポーツレイヤーの育成に貢献している。

# Skimboard

スキムボード

## 板1枚、波打ち際のエキサイティングなスポーツ

木の葉型のボードをもって砂浜から波に向かって走り、すばやくボードを落とし、飛び乗り、波に乗って浜に戻る、というスキムボード。スケートボードとサーフィンを掛け合わせたような珍しいマリンスポーツだ。まだ認知度は高くないものの、主に足がつく波打ち際で行われ、初心者でも恐怖心なく始めやすいことから、大きな伸びしろが感じられる。また技術を磨くために、年中、浜名湖でウェイクスキムができるのも魅力である。ボードが走った後にできる引き波に乗り、スキムボードで海面を滑るウェイクスキムなら、波を待たずして何度でも練習が可能だ。遠州灘での実践練習に加え、浜名湖でのトレーニングで日本一を勝ち取ってきた竹中雄一選手のような一流選手が、再び浜名湖から誕生するのを期待したい。

PICK UP!

### スキムボード全日本チャンピオン 竹中雄一さん

全日本選手権大会で3回優勝した経験を持つ。一般社団法人日本スキムボード協会主催スキムキャンプのコーチを務め、日本チャンピオンならではのテクニックを指導している。全日本選手権大会で優勝し続けることと、スキムボードの認知度を高め、次世代のスキムボーダーの育成に貢献することを目標に、日々仕事と両立しながら練習に励んでいる。



2018年は10月20日、21日に、第13回全日本スキムボード選手権大会が神奈川県で開催されます。

スタンドアップ パドルボード

# SUP

Stand Up Paddleboard  
世界で話題  
エコでクリーンなマリンスポーツ

SUP(スタンドアップパドルボード)は、ボードに立ち、パドルを漕いで水の上を進む新たなマリンスポーツ。水のある場所なら海でも川でもどこでも楽しめ、初心者でもすぐに立てる手軽さが魅力。一方で、サーフィンのように大波に乗り、技を競い合うものや、数10kmもパドルを漕ぎ続けスピードを競うもの、ボードの上でポーズを決めるヨガまで、レベルや好みに合わせて楽しみ方は自由自在だ。浜名湖のすばらしいロケーションでSUPを体験できるプロショップナッツは全国規模の大会を積極的に開催。さらにはメタボリック、成人病の予防のためにもSUPを推奨し精神的に活動している。なおニュージーランドでは、乳がん患者のリハビリとしてSUPを推奨し、医師の指導の下、SUPが癌患者のリハビリに効果的だという報告もある。

ホイルをつけた新しいSUPが今話題に。ホイルとは、ボードの下に取り付けるフィン状のアクセサリー。これを装着すると揚力が生まれ、飛行するかのようボードが浮いて進む。ボードが水面に直接触れないため抵抗を受けず、かなりのスピードが出て、まるでエンジンがついているかのように感じられる。



辺り一面が海という状況での長距離競技は、精神的にも疲れやすい。山や陸に囲まれている内海の浜名湖では、景色の移り変わりを楽しみながら漕げるため、選手にとって好環境だという。

PICK UP!

### SUPの一流

小杉航生くんと小杉正光さん

今年15歳になった航生くんは大人と肩を並べ、全日本選手権のエリートクラスに出場し、好成績を取っている将来有望な選手。昨年11月に行われた長良川SUPジャパンオープン1stでは見事優勝。元ウィンドサーフィンのプロ選手であり、ナッツのオーナーである父親とともに日々浜名湖で練習を重ねている。

問/ウィンドサーフィン & スタンドアップパドルボード プロショップ ナッツ ☎053-487-2312 「sup ナッツ」で検索



フライボード

# Fly Board

ロケットのように飛び立とう!  
水圧で勢いよく上昇し、空中技を決める

近年メディアでも取り上げられることが多く、認知度を高めているフライボード。競技人口も増え、協会も設立された。毎年全日本フライボード選手権が開催され、レジャーだけでなくスポーツとしても成長を見せている。波が高いとジェットが揺れ、その影響で選手もバランスを崩しやすくなるが、浜名湖は波が立ちにくいいためフライボードに最適。浜名湖でフライボードを楽しめる唯一のショップ「ベルマリン」では全日本チャンピオンの指導が受けられると、全国各地から希望者が集う。後ろに宙返りする「バックフリップ」や、水中に潜ったり水面に飛び上がったりを繰り返す「ドルフィン」という大技もチャレンジできるので、勇気を出して挑戦してみよう。

PICK UP!

### フライボードの一流

フライボード全日本チャンピオン  
鈴木寛典さん

全日本フライボード選手権で2年連続優勝。フライボードのインストラクターをしながら3連覇を目指し、筋トレやトレーニングを毎日欠かさない。「フライボードは道具や環境が揃っていないとできないので競技ができる場所も人口もまだまだ少ないですが、スポーツとしてもっとメジャーに成長できるように携わっていきたい」と語る。

問/ベルマリン ☎053-578-3210 「ベルマリン」で検索

